

Compass I, II, III Revised で 対話と笑顔のある授業を

——新学習指導要領を見据えた授業実践に向けて 江原美明



Compass III Revised が完成し、シリーズ全3巻が揃いました。I, II, III 各レベルに応じた英文の量や難易度の調整，題材，言語活動，レイアウト，挿絵・写真，ポストリーディング活動の見直しなど，Compass をお使いいただいている先生方の声を取り入れた改訂で，さらに使いやすい教科書へと進化しました。4技能（5領域）の育成をより重視する新学習指導要領を見据え，改訂版 Compass に込めた願いと活用のヒントをお伝えしたいと思います。

◆対話と笑顔を促すトピックと挿絵（写真）

対話のある授業には自然に笑顔が溢れます。そして，対話と笑顔のある授業は生徒同士の人間関係づくりや主体的に学ぶ意欲の育成，学習事項の定着に大きな効果があります。Compass は幅広い題材を扱いながらも，生徒の日常生活と関連づけやすい題材を精選し，各課，パートに印象的な挿絵やカラー写真を載せています。これらを活用して，See-Think-Wonder（何が見えるか，どう思うか，どんな疑問を思い浮かべるかを聞く活動）や，Think-Pair-Share（質問についてまず1人で考え，次にペアで話し合い，最後に全体でシェアする活動）などを行うことで，生徒が始終下を向いているのではなく，顔を上げて英語を話す機会を増やすことができます。

Compass III Revised では，Personal Space (Unit 2 Lesson 6) に関する題材が新たに加わり，「混み合ったエレベーターの中で人はどう行動するか」といった，日常生活に関連深くしかも人間

の心理という普遍的なトピックを扱っています。また，笑いの効用を扱った Laughter is the Best Medicine (Unit 3 Lesson 1) には，思わず微笑んでしまいそうな写真が載っており，授業で *They look so happy! Do you think animals laugh?* などと生徒に話しかけたいくなります。



◆英語での授業を行いやすい構成と本文

「授業を英語で行う」ことの大きな効用は，生徒が教室で英語を使う場面を増やし，一字一句日本語に置き換えて考える癖をなくすことにつながるという点です。ただそうは言っても，全く日本語を使わなくてよいのか，生徒に英文の内容をしっかりと理解させるには具体的にどうするのか，限られた時間でどう自己表現活動をするのか，など教える側の悩みは尽きません。

Compass Revised では，こうした悩みに応えられるよう，理想論ではなく，先生，生徒の双方にとって取り組みやすく，シンプルでわかりやすい内容確認クイズや言語活動を適切に配列し，英語を使いながらも無理なく授業が進められるようになっています。例えば，Compass I, II Revised では，各パートを見開き構成にし，Answer it! をはじめとした言語活動を本文の右側に配置して，各レッスンの最後には生徒が取り

組みやすい T/F クイズやイラストを使った文法演習を用意しています。

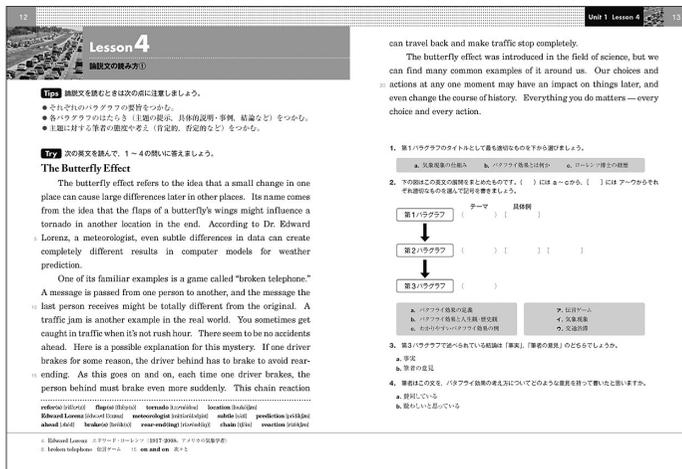
Compass III Revised では、4 技能の能力を高めながら論理的思考力と英文を読み取る力が身につくよう、Unit 1 ではリーディング・ストラテジーを、Unit 2 ではパラグラフの要点と英文全体の論理構造を、Unit 3 では長文を読む力を段階的に身につけられるようになっています。特に Unit 1 では、英語による内容理解設問だけでなく日本語による内容整理チャートもあり、英語でのやりとりに加え、生徒に自分の言葉で理解した内容を日本語で説明させたり、日本語のチャートを見ながら英語で概要を話させたりすることなどを通して、和訳に頼らず考えながら英語を使う授業づくりを支援します。

Compass I, II, III Revised のテキスト本文は、日本での指導経験豊富な 2 人のネイティブ・スピーカーがリライトや書き下ろしを担当しており、日本人著者と議論を重ねながら作成しています。必要以上に難解な英文は避け、生徒が自己表現のためのお手本として安心して使える活用頻度の高い現代的な英語表現の宝庫となっています。

◆パフォーマンス評価に役立つ言語活動

今後ますます求められる 4 技能（5 領域）の育成に向け、特に話すこと、書くことに関する指導と評価が課題となっています。生徒の進路やニーズに応じて到達目標を設定し、計画的にパフォーマンス評価を実施することは大変な労力を必要としますが、大がかりなものを年に 1 回実施するより、簡単にできる評価を複数回実施する方が生徒の学習への波及効果が大きいかもしれません。

Compass I, II Revised の各レッスン最後の Enjoy Communication には、話したり書いたりする簡単なタスクが、*Compass III* の Unit 2 の



Compass III Unit 1 (Lesson 4)

各レッスンにも、Further Practice C で話す、書くことに関する自己表現活動があります。こうした比較的短時間でできる活動を参考にパフォーマンス評価をするのもひとつの方法です。

◆現場の負担を軽減する補助資料

多忙な校務の中で授業の準備をしなければならない先生方の一助となるよう、*Compass* シリーズには、生徒用『学習ノート』や教師用『情報資料集』をはじめ、多様なデジタル資料が用意されています。既製の教材を活用することで、授業の組み立てを考えたり生徒と過ごしたりする時間を捻出することに少しでも役立てば幸いです。

* * *

新学習指導要領では、4 技能（5 領域）にわたる外国語によるコミュニケーション能力とともに、他者への配慮や主体的に学びに向かう姿勢を養うことが求められます。*Compass Revised* シリーズが、将来に向けて生き生きと学ぼうとする生徒と、生徒たちの学びを温かい心で支援する先生方の役に立つことができれば、著者・編集者一同、これ以上の喜びはありません。

（えはら よしあき・神奈川県立国際言語文化アカデミア教授）